

学校教育課長の仕事宣言！

学校教育課長 柴田 昌範

1 基本姿勢

鳥栖市教育委員会では、平成25年4月に鳥栖市教育プランを策定し、今年4月に一部改訂をしました。めざす子ども像を『ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、よりよい社会の形成者としての資質能力をもった鳥栖っ子』としています。鳥栖市の次代を担う児童生徒一人一人に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つを調和させ、育成するように努めています。

各学校では、児童生徒や地域の特性など実態に応じた学校経営に努め、特色ある学校づくりや基礎・基本の重視、個性を生かす教育の充実、豊かな人間性を培う心の教育の充実等に取り組んでいます。また、教科等や生徒指導、ICT利活用教育等に関する研修会や研究授業等の実施により、教職員の資質向上にも努めています。

しかし、近年、学校を取り巻く社会的、家庭的な環境が大きく変化し、不登校やいじめ問題など問題行動の増加、学習意欲の低下などの様々な課題があり、学校現場に求められる要望や課題は多く、学校は日々、その対応に追われている状況にもあります。また、鳥栖市では、学力面、生徒指導面、人間関係等の不安から、市立中学校以外へ進学を希望する児童生徒や保護者の割合が高く、そのことが学校経営を難しくする要因の一つとなっています。

そのため、これまで以上に「学力向上」、いじめ防止、不登校解消等を含めた「生徒指導上の課題解決」、「教職員の資質向上」を図り、市立中学校への不安を解消し、魅力ある学校づくりを進めることが、大きな課題であると考えています。

2 重点事業（リープロ11）の概要

5 未来を育てる人プロジェクト

⑦特色ある学校づくりを進めます。

現在、学校現場では、少人数指導やきめ細やかな指導の充実を図るための教員の配置や教職員の研修の充実、ICT利活用教育のための環境整備、体験活動や地域の歴史・文化を活かした教育の充実などを進め、確かな学力を育む特色ある学校づくりを進めています。

また、一方で、児童生徒の問題行動、不登校、いじめへの対応も求められて、命の尊さや思いやりの心など、豊かな心を育む教育の充実も進めています。

今年度も、昨年度に続き、いじめ撲滅のための研修会の実施や児童会、生徒会の取組の強化に加え、地域や家庭への協力も求めて、学校と地域社会全体でいじめ発生防止に取り組んでいきます。

また、鳥栖市では、市立中学校以外への進学を希望する児童生徒、保護者の割合が高いため、市立中学校をさらに魅力や特色のある学校にすることが大切です。そこで、学力の向上はもとより、言語力（国語力、英会話力、コミュニケーション力）や表現力の育成、自ら課題を解決していく力・自ら学ぶ意欲や態度・豊かな人間性や社会性などの生きる力を身につけるために、小学校と中学校をつなぐ一貫した教育を行い、子どもの教育環境の向上を図り、一人一人の可能性を引き出す教育を推進していきます。

また、様々な学校での生徒指導上の問題解決や課題を抱える児童生徒・保護者の支援のために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポーター、心の電話相談員の配置、学校適応指導教室の設置等を継続して行ったり、道徳教育の充実、健康教育の充実を図ったりして、児童生徒の豊かな心、健全な体を育む教育の充実を進めます。

3 重点事業（リープロ11）の取組み

〔具体的取組名〕

○特色ある学校づくりを進めます。

〔5年後の姿〕

○子どもたちが明るく豊かな心を持ち、楽しく学校に通い、意欲的に学んで、義務教育を修了するにふさわしい学力と社会性を身に付けている。

〔目標値〕

○市内4中学校区で施設分離型の小中一貫教育に取り組んでいる。

○市内12校で年間5回以上の学校評議員会を開催し、学校経営に意見を生かしている。

○市内12校で日本語の教科書を用いて言語力育成を図る取組を行っている。

〔取組を達成するための事業〕

○小中一貫教育推進事業

①小中一貫教育事業：〔事業内容〕小中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組む、義務教育9年間の連続性のある指導を行います。

②国語力、英語力、コミュニケーション力への対応事業：〔事業内容〕言語力を高めると共に日本の伝統文化について認識を深め、郷土を愛する児童生徒の育成を目指すため、教科「日本語」を導入する。

③ICT利活用教育推進事：〔事業内容〕小中学校へのICT機器の導入を推進し、電子教科書やインターネットを利用した授業を可能とすることで、分りやすい授業の実現、児童生徒の情報能力の向上を図り、学力向上に努める。

〔3年間のスケジュール〕

| 事業名 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------------------------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 小中一貫推進事業 | 鳥栖西中学校区研究発表会の実施及び鳥栖中校区への研究委嘱。 | 鳥栖中校区研究発表会の実施及び基里中校区への研究委嘱。 | 基里中校区研究発表会、田代中校区への研究委嘱。 |
| 国語力、英語力、コミュニケーション力への対応事業 | 日本語教科書作成作業研修会の実施。 鳥栖中校区で先行試行。 | 日本語教育の全小中学校での実施及び研修会の実施。 | 日本語教育に関するアンケート実施等で成果の検証等。 |
| ICT利活用教育推進事業 | 市内中学校全普通教室への電子黒板配置とデジタル教材の活用。 | 市内全小学校全普通教室への電子黒板配置とデジタル教材の活用。 | デジタル教材活用の推進及び無線LAN環境整備検討。 |

〔事業名：小中一貫教育推進事業 H26年度スケジュール〕

| | |
|-------|--------------------------------|
| 第1四半期 | 鳥栖西中学校区、鳥栖中校区への研究支援。 |
| 第2四半期 | 小中一貫教育コーディネーター研修会の実施。 |
| 第3四半期 | 鳥栖西中校区小中一貫教育研究発表会。 |
| 第4四半期 | 鳥栖中学校区への研究支援。鳥栖中校区小中一貫教育中間発表会。 |

〔事業名：国語力、英語力、コミュニケーション力への対応事業 H26年度スケジュール〕

| | |
|-------|--------------------------------|
| 第1四半期 | 鳥栖西中学校区、鳥栖中校区への研究支援。 |
| 第2四半期 | 小中一貫教育コーディネーター研修会の実施。 |
| 第3四半期 | 鳥栖西中校区小中一貫教育研究発表会。 |
| 第4四半期 | 鳥栖中学校区への研究支援。鳥栖中校区小中一貫教育中間発表会。 |

〔事業名：ICT利活用教育推進事業 H26年度スケジュール〕

| | |
|-------|----------------------------------|
| 第1四半期 | 情報推進リーダー研修会の実施及び機種選定。 |
| 第2四半期 | 電子黒板の中学校全普通教室への整備終了。 |
| 第3四半期 | 各学校別に研究授業及び研修会の実施。 |
| 第4四半期 | 市内中学校教職員へのアンケート実施及び次年度小学校機種導入準備。 |

お問い合わせ

学校教育課 (TEL 0942-85-3520 / E-Mail gakkou@city.tosu.lg.jp)